

育連だより

青少年育成連盟所属団体指導者27名が 神奈川県知事表彰・川崎市長表彰を受賞

平成10年度神奈川県青少年育成功労表彰を2名の方、川崎市青少年健全育成功労者表彰を25名の方が受賞され、神奈川県知事または、川崎市長から、長年にわたり青少年の健全育成に貢献された事に対し、感謝の意を受けられました。

以下に表彰を受けた方々を御紹介します。
(敬称略)

《神奈川県青少年育成功労表彰受賞者》

表彰日 平成11年1月28日(木)

西 葉子 (ガールスカウト)
福田武雄 (海洋少年団)

《川崎市青少年健全育成功労者表彰受賞者》

表彰日 平成11年2月5日(金)

荒井 徹 (子ども会) 飯島信男 (子ども会)
池村重信 (B. S) 石垣信夫 (子ども会)
猪股吉郎 (B. S) 黒川忠夫 (子ども会)
小池隆一 (B. S) 小林洋美 (G. S)
近藤繁夫 (子ども会) 鈴木光哉 (子ども会)

高橋由子 (海洋少年) 武田 勲 (子ども会)
田中恭子 (G. S) 田邊瞭子 (子ども会)
谷本通安 (B. S) 中山靖子 (子ども会)
新実英明 (子ども会) 早川 清 (子ども会)
早坂 保 (B. S) 深澤 實 (子ども会)
福永櫻子 (G. S) 藤井きぬ (G. S)
千川 進 (子ども会) 水越勢津子 (子ども会)
村松偉希 (子ども会)



平成11年「成人の日を祝うつどい」 開催される!!

今年も1月15日(金)に「成人の日を祝うつどい」がとどろきアリーナで行われました。色とりどりに着飾った新成人たちが、午前・午後の部、合わせて7,893人参加しました。

青少年育成連盟では、毎年「成人の日を祝うつどい」の運営の協力をしています。

今年も123名の子ども会・ボーイスカウト・ガールスカウトの指導者やスカウトが新成人の案内、受付などに協力をしました。

また今年も、午前の部は子ども会連盟の笠倉秀貴さん、午後の部はガールスカウトの柏木美由紀さんが、式典のなかで新成人の代表として、

成人としての抱負や夢を発表しました。



歳末助け合い募金を川崎市長へ贈呈

ボーイスカウト川崎地区協議会・ガールスカウト川崎市連絡会他1団体の代表スカウト達が、平成10年12月25日に歳末助け合い募金等の収益金2,086,994円を、川崎市長に贈呈しました。ボーイスカウトは12月1日から19日まで、ガールスカウトは12月5日・6日に、市内各駅前等で行った歳末助け合い街頭募金活動の成果などです。

川崎市の社会福祉事業や、青少年健全育成事業・緑化事業に役立ててもらおうと、各団体の代表のスカウト達が飯村市民局長・蟹江健康福祉局長・武井環境局緑政部長の見守るなか、高橋市長に手渡しました。川崎市からは、お礼と

して各団体に花の種の贈呈があり、高橋市長からのお礼の言葉と共に、川崎市を皆の手で緑と花で一杯にしてくださいとの挨拶を受けました。



ゆ・め・い・ろKAWASAKI 青少年フェスティバル開催 みんなあつまれ！とどろきアリーナ！

平成10年度川崎市青少年フェスティバルが、とどろきアリーナ周辺を会場に3月28日(日)10時から開催されます。

このイベントは、市内の高校生から25歳までの実行委員達が、企画から運営までを自分たちで考え、開催するものです。もちろん青少年育成連盟に所属している子ども会・ボーイスカウト・ガールスカウト・海洋少年団のジュニアリーダー達も大勢実行委員として頑張っています。

当日は、工作コーナーや、迷路・シルエットクイズ・スタンプラリー・ジャンボビリヤードなどの催し物や、フリーマーケット・模擬店、アマチュアバンドのライブなど、青少年達が考えた大人から子供まで楽しめる催し物がいっぱいです。

また、当日の運営には、高校生を中心とした運営ボランティアや青少年指導員の方々とともに青少年育成連盟も協力します。

全川崎子ども会羽根つき大会(子ども会)

第47回川崎市子ども会羽根つき大会が川崎市子ども会連盟主催・東京新聞の後援で、2月7日に川崎市立体育館で行われました。

各区の予選を勝ち抜いて来た小・中学生・お母さん方が熱戦を繰り広げました。中原区宮内子ども会の石橋翔菜さんの力強い宣誓で試合が始り、8面のコートで団体・個人戦がトーナメントで行われました。小学生団体の部では宮前区代表の有馬と有馬第一が決勝戦となり大接戦の末、有馬子ども会が優勝、中学生は多摩区の栗谷子ども会13年ぶりの優勝で飾り、お母さんの部は同じ多摩区山の手子ども会が五連覇を達成する。スタンドからは一打一打のたびに黄色い

声援がとび散る中で大会が終了した。



第32回作品展(子ども会)

第32回作品展が2月8日羽根つき大会と一緒に川崎市子ども会連盟主催、東京新聞後援で川崎市立体育館においておこなわれました。

各区より選ばれた作品、書道368点、絵画262点、ちぎり絵40点が同会場に展示されました。この作品より、書道・絵画各々最優秀1点、優秀7点、入選10点、佳作20点を、川崎市の小・中学校の先生に審査をしていただきました。

これらの作品は2月24日より28日までさいか屋6階に展示させていただき、2月28日中島連盟

長はじめ、東京新聞山崎川崎支局長、さいか屋より曾我部部長が御出席された中で、書道の部の小林孝大くん、絵画の部の門田礼子さんが最優秀、ちぎり絵の部横井成美さんが金賞でたくさんの賞品を戴き、会場よりお祝いの大拍手をいただき、又文化広報委員長の講評の中で2回3回と入賞している方がおります。初入賞の方も2回3回と入賞する様に頑張ってくださいとの言葉で終わりました。

新春の合宿はもちつきで(海洋少年団)

平成11年の活動は1月23日から1泊2日の合宿で始まった。

メインとなる活動は「もちつき」で毎年恒例になってはいるが、秋のキャンプより自主的にを目標に団員の考えによる「もちつき」にしたく事前準備ができるよう合宿にした。

さっそく何もちが食べたいか、話し合いを始めてもらった。食べ方の種類がたくさん出てきたらどのように対処しようかと思っていた。

考えることが面倒くさいのか、「きな粉もち」「納豆もち」の2種類だった。ちょっとがっかりし、もっと他にも食べ方があるでしょうと他の種類の食べ方をいっても反応がない。発想が貧困なのか、食べ方を知らないのか、おもちを食

べたくないのか良く分からないがとりあえず2種類に決めた。

「きな粉もち」「納豆もち」を食べるためには、何の材料を用意すればよいか次の話し合いにし、まとまったところで、近所のスーパーマーケットへ買い出しに行った。

もち米は5kg用意してあるので、きな粉と納豆のおもちでは飽きてしまうと思い、「ごま」と「インスタントのお吸い物」を買い足した。これで「ごまもち」と「雑煮」がレパートリーに増えた。

24日は何と不運にも雨の中でのもちつきとなったが、テントの下で、無事に5kgのもち米をつき終え、4種類の食べ方で食べる事ができた。

初めてのスキー(海洋少年団)

12月25日から2泊3日で行った今年の軽井沢スキー合宿は、スキーは生まれて初めてという小学校1年生の雄太が参加した。ガチガチのスキーブーツに板を付けて両手にはストックを持ち、さっそうとしたいでたちはなかなかのものだ。さあよいよ練習開始!「スキーの先をハの字にしてごらん」と言われてカタカナのハを思い浮かべたでしょうか?

午前中は、歩く、滑る、転ぶ、起きるを何回繰り返したことが。スキーってこんなに疲れるものかと思ったに違いない。他の人たちに「雄太がんばれ」と励まされ、みんなと一緒に滑れることを思いながら汗びっしょりになってがんばった。昼食を済ませ休憩をとったせいか元気回復。午後は見る見る上達しどうやら感じをつ

かんだ様子、いよいよリフトに乗ってみることにした。乗り降りにはちょっとむずかしいけど山の頂上は気分がよかった。全員で記念撮影をし、なんとかみんなの仲間入りができた。転がりながらも下まで滑り下りた時の笑顔は最高のものでした。来年まで忘れないでね!



ニューイヤーパーティー開催(ボーイスカウト)

去る1月16日(土)午後6時から、武蔵小杉の総合自治会館の大ホールで、地区協議会恒例のニューイヤーパーティーが盛大に開催された。会は組織拡張委員会が企画・立案・準備・運営を担当された。

村田副委員長の司会で始まり、堀田協議会会長から「本年も元気に楽しくやりましょう」と挨拶があり、最長老の古尾谷盛太郎地区先達の音頭で乾杯をした。しばらくは、各テーブル毎の懇談になった。

盛り上がりをさらに大きくしたのは、名物になっている地区役員などから提供された物品のオークションが賛助会・財政委員会の手によって始まった。

アルコールの力もあり、品物が示されるたびにあちら、こちらから声が上がリ、希望した物を手にした人は喜んでいて、中には、かなりの高値がついたものもあったが、一般には時価の

1/3~1/5ぐらいで安い買物が出来たようであった。売上げ金は、すべて賛助会に入り、基金になって、毎年地区への賛助金になって戻って来る。

楽しいパーティーも時間が来てお開きとなった。そのあとは、参加者全員が力を合わせて後片づけをあっという間に終らせて、それぞれの家路についた。



楽しかったシンキングデイ(ガールスカウト)

2月14日 高津市民館でガールスカウト川崎市連絡会では、スカウト・リーダー・保護者それぞれお友達とシンキングデイを行いました。

旗の入場・スカウトハウスのセレモニーではちょっと緊張したり、かわいいこびとさんが組み立てるシンボルマークに見入ったり。ガールスカウト活動のはじまり。そして日本でのスカウト活動が広がっていった様子などを、ヤングリーダーやレンジャー達が劇にしてくれました。私達もメキシコやケニアなどの国のスカウトになって国旗を振って、劇に加わりました。

6種類の募金や基金についてリーダー達が、とっても分かりやすく、民族衣装を着たりして教えてくれました。みんなで輪になって好きな募金箱に、大事にもってきたおこずかいを入れました。「こんなに集まったんだ」小さな善意が大きな力に……スカウトの感想が聞こえてき

ました。

午後はゲーム・クイズ・ダンスと団をこえた交流を楽しみました。

スカウト活動を始められた方のお誕生日をお祝いしながら、自分のこと、家族のこと、友達のこと、世界のこと……いろいろなことを考えるよい機会になりました。



編集後記

本号から、様式をこのようにA4横書きと大幅に変更しました。これは、見易い、配布し易い、保管し易いなど良いことが多いと思われたためです。ご意見やご希望がありましたら事務局までご一報下さい。

発行 川崎市青少年育成連盟
事務局 〒211-0053
中原区上小田中6-22-5
エポック中原5階
TEL 044-733-3951
印刷 西桜印刷株式会社